

# いわてみやぎふくしまついとうしき

# 岩手、宮城、福島が3.11追悼式

# 「がんばれ日本、東北！」

## 復興祈り、黙とう捧げる

「復興に向け、着実に歩づつ」。岩手、宮城、福島の3県人が会館で「東日本大震災3周年追悼式」を行った。震災発生日に合わせた平日開催にも関わらず、約100人が集まり犠牲者に黙とうを捧げた。防災関係による講演や、各県知事から復興に向けた近況報告も寄せられ、3県は当地からの支援に感謝する一方、復興に向けた着実な成果を報告した。

## 明るい近況報告も届く

岩手県人の会の千田暁晴会長が、「未曾有の被害から丸3年。故郷に戻れない苦ししさを抱える中での生活が、平穏な日々が1合暗会長は、「復興に立

ても早く戻るよう願う」と述べ、黒とうが捧げられた。県連を代表して立った秋田県人の会の川合暗会長は、「復興に立

そのほか日系団体関係

者在聖総領事館から佐野浩明首席領事、ブラジル国防局からアルミニン・プラウドン局長代理もかけつけ、同氏は「自然災害に対する日本の対応力は世界一だと思う。我々は日本から防災を学び、政

府は子どもたちへの防災教育を強化している。明

るい未来のため、被災地

の早期復旧を心から信じ

ている」と願った。

3県知事からの現状報告で岩手県の達増拓也知事は、「水産業の水揚げ量は平年の約7割まで回復。4月には三陸鉄道が全面開通する」と明るい話題を提供し、宮城県の村井嘉浩知事は「今までに災害廃棄物の処理が完了する見込み」と述べた。(中沢夏樹ノロエステ)

通信員

被災地の映像が放映さ

れた。震災以降に撮影された電に触れた「新たな産業」が始まつた洋上風力発電を創出する取り組みも動いた。

被災地の